

経済動向調査報告書

平成30年度 銚田市商工会

銚田市内の地域経済を支える小規模事業者は、需要の低下、売上の減少、経営者の高齢化による事業承継等の問題に直面し、経営を持続的に行うための経営課題の解決が必要となっている。

そこで、伴走型小規模事業者支援推進事業として、銚田市の事業者に景況感や経営上の問題点に関するアンケート調査を実施する。収集した情報は事業者を提供するだけでなく、商工会としても事業者に対する効果的な支援策の立案に役立てるものである。

〔アンケート調査概要〕

調査時期 平成30年10月1日～10月31日

調査対象 市内小売業(20)・サービス業(20)・建設業(15)・製造業(15) 関係事業者70件

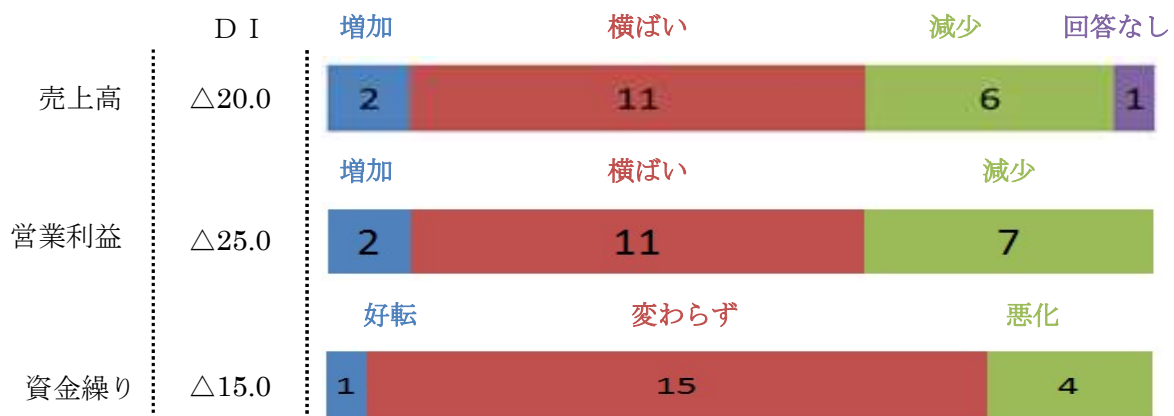
調査方法 郵送後、職員が内容の確認等のため事業所を訪問し回収

回答数・回収率 67件・95.7%

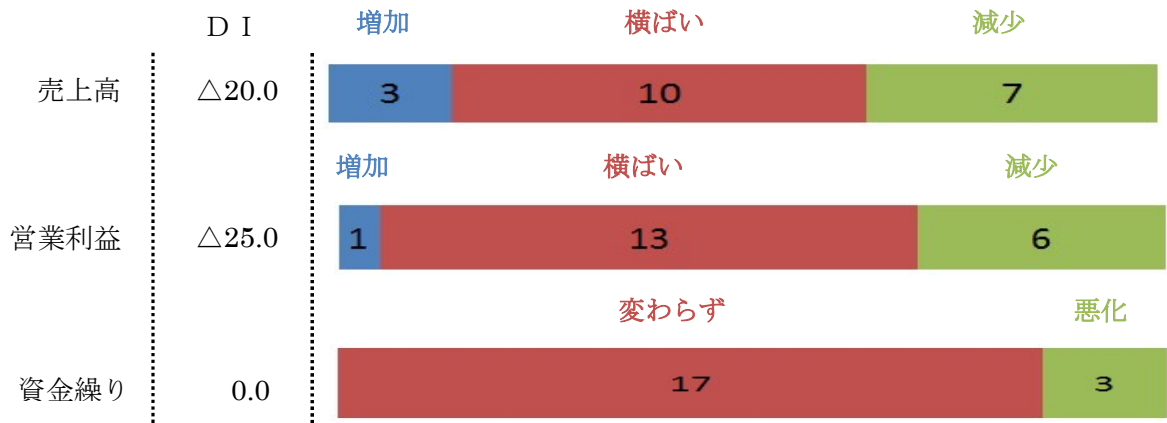
〔集計結果〕

景況感（業種ごと）

小売業



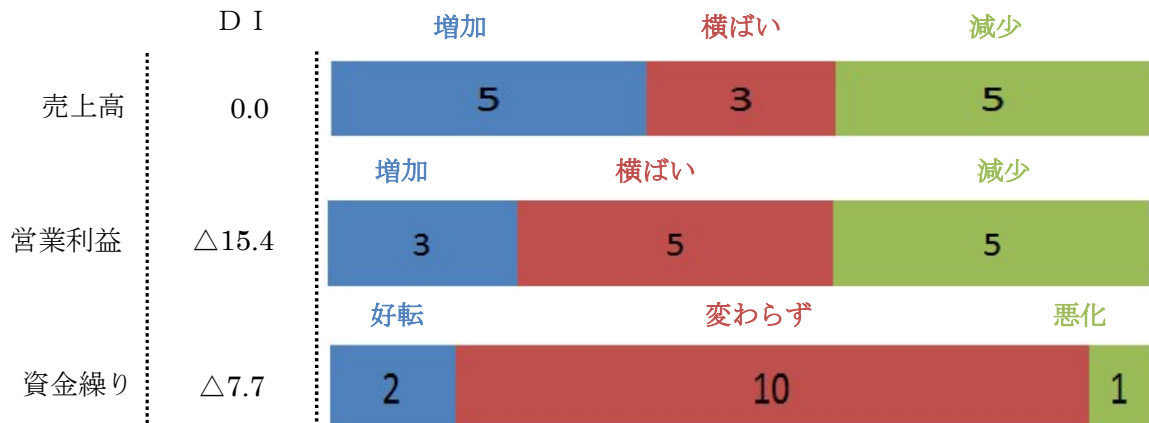
サービス業



建設業



製造業

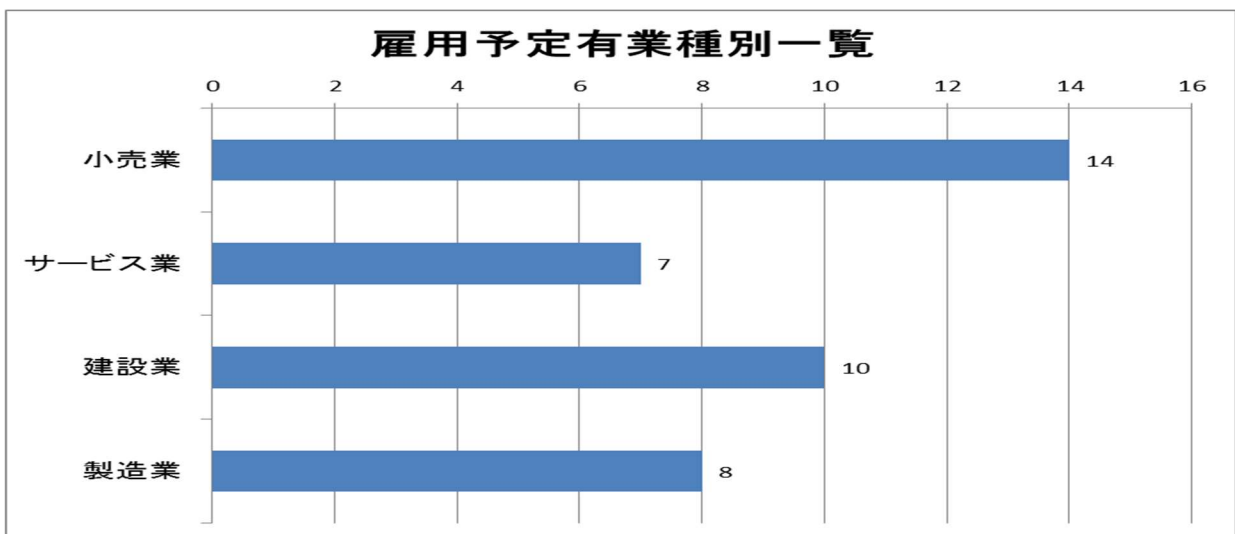
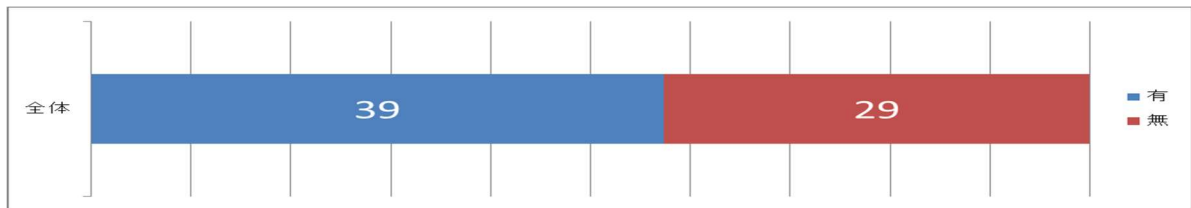


雇用の状況（全体・業種ごと）

➤ 従業員数の雇用数について



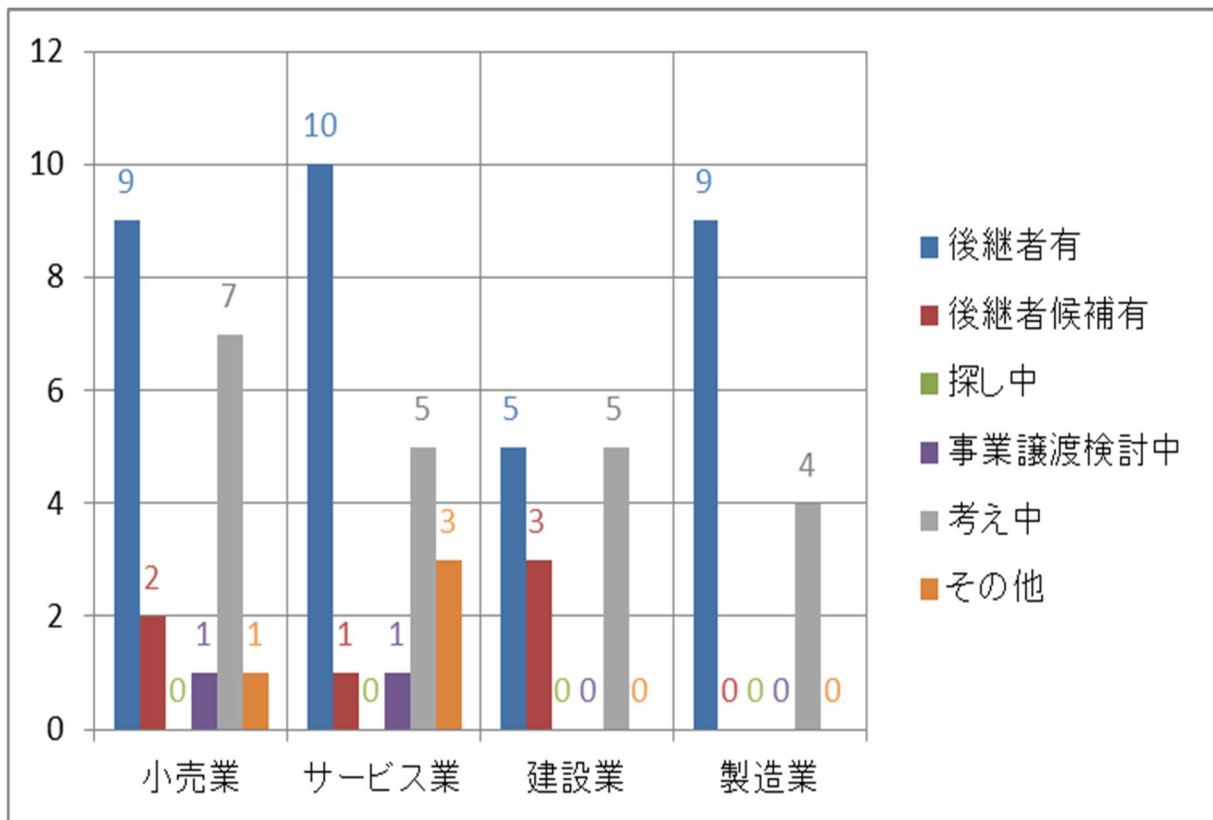
➤ 今後の採用について



事業承継（業種ごと）

<アンケート対象者年齢>

30代 1名
40代 9名
50代 20名
60代 26名
70歳以上 11名

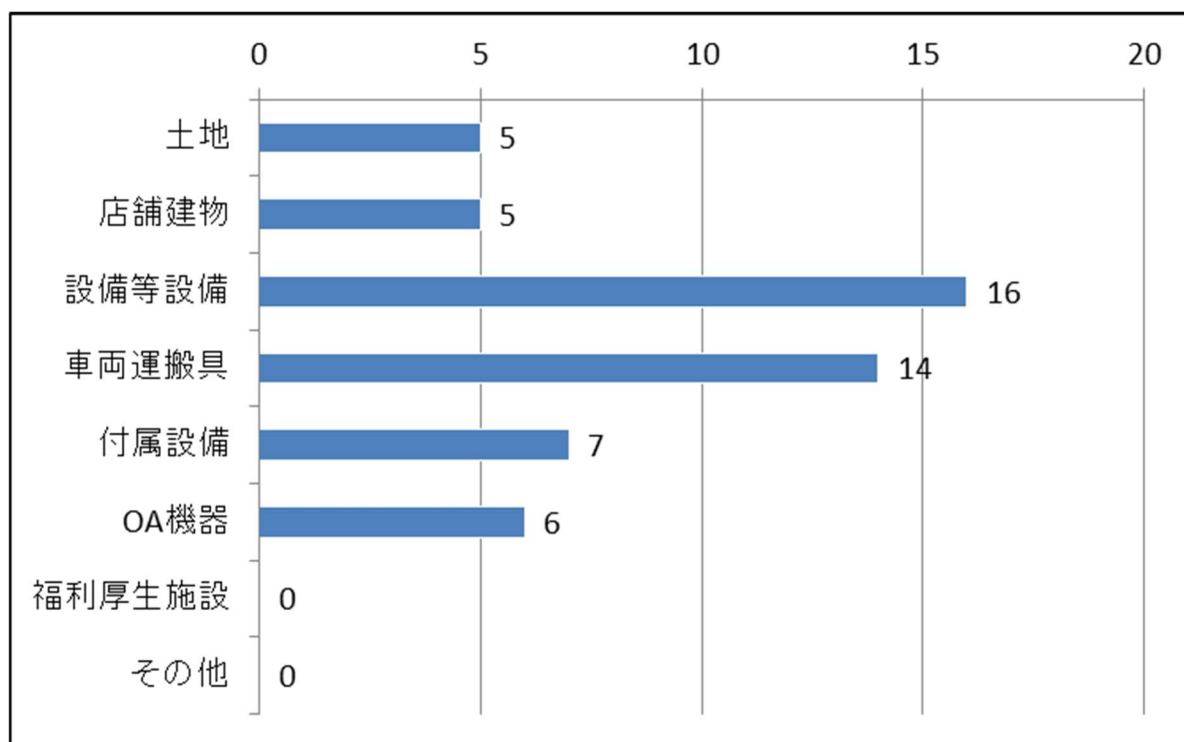


設備投資

➤ 昨年の新規設備状況

	実施	実施無	未回答
設備投資	32件	34件	1件
全体の回答結果	47.8%	50.7%	1.5%

➤ 実施した項目について（実施有と回答があるもの）



経営上の問題点（全体・業種ごと、上位）

<全体>

- 1位 原材料(仕入)価格の上昇
- 2位 売上(受注)不振
- 3位 顧客・消費者ニーズの変化

<小売業>

- 1位 原材料(仕入)価格の上昇
- 2位 労働力不足
- 3位 売上(受注)不振
- 同率 販売(出荷)価格低迷
- 同率 諸経費(物流・物件費等)の上昇

<サービス業>

- 1位 売上(受注)不振
- 同率 顧客・消費者ニーズの変化
- 3位 原材料(仕入)価格の上昇

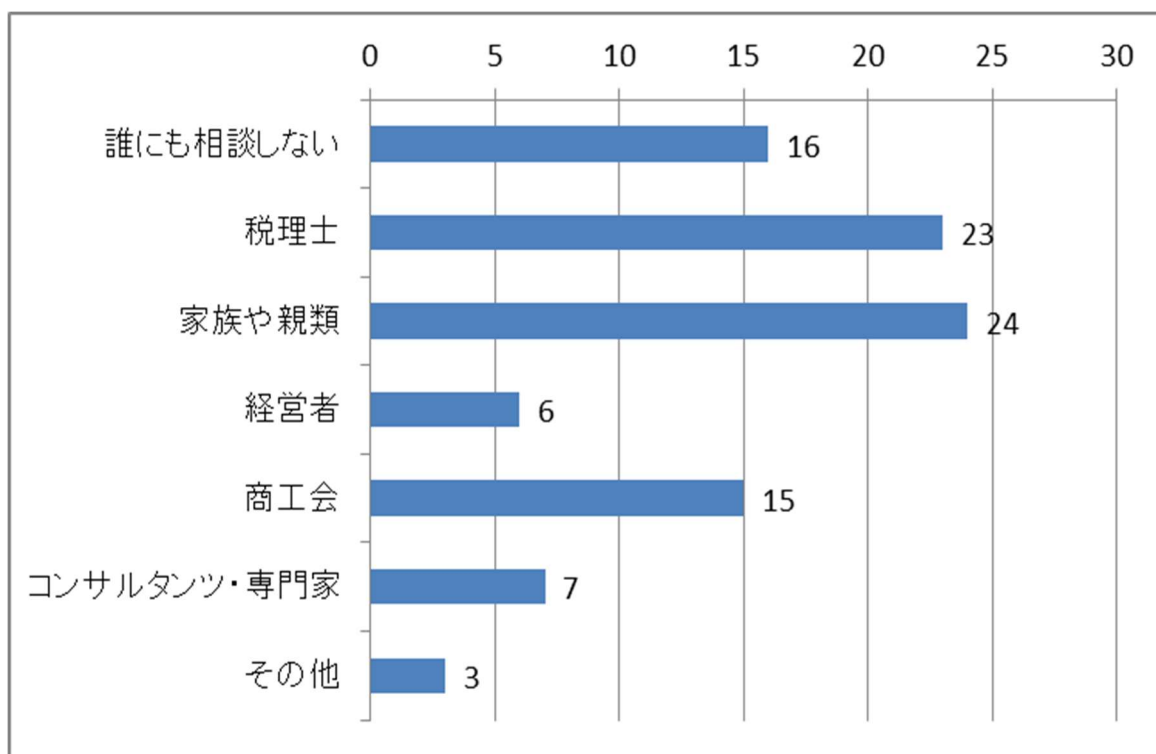
<建設業>

- 1位 労働力不足
- 2位 売上(受注)不振
- 3位 原材料(仕入)価格の上昇

<製造業>

- 1位 原材料(仕入)価格の上昇
- 2位 売上(受注)不振
- 3位 人件費の上昇

経営の相談相手（全業種）



参加したいセミナー（全体・業種ごと、上位）

<全体>

- 1位 インターネット関連
- 2位 補助金活用
- 3位 経営計画策定

<小売業>

- 1位 販路開拓
- 2位 補助金活用
- 同率 経営計画策定

<サービス業>

- 1位 インターネット関連
- 2位 経営計画策定
- 3位 補助金活用

<建設業>

- 1位 インターネット関連
- 2位 補助金活用
- 3位 人材活用

<製造業>

- 1位 補助金活用
- 2位 インターネット関連
- 3位 経営計画策定
- 同率 人材活用
- 同率 販路開拓

総括

(1) 収益環境の悪化～「売上不振」、「原材料価格の上昇」、「人手不足」が要因

銚田市内の事業者の景況感を、DI 値を活用して分析する。

営業利益 DI の変化をみると、製造業（－15.4 ポイント）が最も高く、小売業及びサービス業（－25.0 ポイント）、建設業（－28.6 ポイント）と続いており、全業種で収益環境が悪化していることがわかる。

アンケート結果全体を総合的に俯瞰すると、収益環境の悪化要因として以下の3つが浮かび上がる。

① 「売上（受注）不振」

『経営上の問題点』についてみると、すべての業種において、「売上（受注）不振」が、上位3位までにランクインした。銚田市内の事業者においては、アベノミクスや東京オリンピック開催に伴う景気の好循環の恩恵が限定的であることがわかる。

② 「原材料（仕入れ）価格の上昇」

同様に、「原材料（仕入れ）価格の上昇」についても、『経営上の問題点』において、すべての業種で上位3位までにランクインした。仕入原価率が高い小売業や材料費率が高い製造業で、回答数が最も多くなっており、収益環境への影響が大きいことがうかがえる。

③ 「人手不足」

『雇用の状況』についてみると、小売業（55.0%）及び建設業（42.9%）で、およそ半数の事業者が従業員に不足感を感じている。特に、建設業では、『経営上の問題点』においても、「労働力不足」と回答した事業者が最も多くなっており、人手不足によって収益環境が悪化している状況がうかがえる。

(2) 収益改善に向けた対応策～「販路拡大」、「効率化」、「戦略策定」に対する支援ニーズ

収益環境の悪化に対して、銚田市内の事業者はどのような支援ニーズを持っているのだろうか。

『参加したいセミナー』の回答（全体）をみると、回答が多い順から「インターネット関連」、「補助金活用」、「経営計画策定」となっており、収益改善に向けてこれらに対する支援ニーズが高いことがうかがえる。

(3) 事業承継～過半数の事業者が後継者あり

中小企業の経営者年齢の高齢化とそれに伴う休廃業が高水準で推移している。

『事業承継の準備段階』についてみると、「後継者がいる」または「後継者候補がいる」と回答した事業者を合わせた「承継予定事業者」がすべての業種で過半数を超える一方で、「考え中」と回答した事業者も各業種で3割程度いるなど、銚田市内の事業者についても、今後事業承継やそれらに対する支援ニーズが増加していくことが想定される。